

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年7月31日

【評価実施概要】

事業所番号	1071100273
法人名	有限会社 えにし
事業所名	グループホーム ほのか
所在地	群馬県安中市原市1303-1 (電 話) 027-380-2272
評価機関名	サービス評価センターはあとらんど
所在地	群馬県前橋市大友町2-29-5
訪問調査日	平成20年7月23日

【情報提供票より】(20 年7 月1 日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・平成 20 年 7 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	13 人	常勤 6 人, 非常勤 7 人, 常勤換算 4.75 人	

(2)建物概要

建物構造	木造	造り
	1 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000	円	その他の経費(月額)	12,000円(光熱費・持込費等)		
敷 金	有(円)		無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無		有りの場合 償却の有無	有／無		
食材料費	朝食	300	円	昼食	300	円
	夕食	350	円	おやつ	50	円
	または1日当たり					円

(4)利用者の概要 (7 月 1 日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	3 名	要介護4	0 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 89 歳	最低 83 歳	最高 99 歳		

(5)協力医療機関

協力医療機関名	碓氷病院 須藤病院 半田内科医院 半田歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者と職員で地域密着型サービスの理念を話し合い「地域とのつながりを大切に、自分らしく暮らす」と事業所独自の理念を掲げている。地域とのつながりを利用者と一緒に取り組んでいる。散歩時に挨拶を交わす、立ち話をする、近隣の店に行く、中学生の職場体験と一緒にチューリップを植える、日帰り温泉に行く、ボランティアの受け入れ等で楽しんでいる。また、個別には利用者の友人の協力を得て、公民館活動のダンスや短歌、母子会への参加等、友人とのつきあいや地域とのつながりが継続されている。利用者は穏やかで自由にのんびりと一人ひとりのペースで生活を過ごされている様子が伺えた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	①地域密着型サービスとしての事業所独自の理念を職員と話し合い、作り上げている。②職員を育てるでは、消防署の協力を得て、職員は年1回救急救命講習を受講するように取り組んでいる。③プライバシーの確保の徹底では、プライバシーの保護や個人情報保護の保護は慎重にし徹底を行なうように努めている。職員の就業規則に掲載し、誓約書に署名するようにしている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義や目的を全職員に伝え、項目を分担し全員で記載してもらい、管理者がまとめている。職員は自らの実践を点検し、改善点について考える機会としている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	定期的に(2ヶ月に1回)開催しており、利用者状況、行事、職員関係等の報告を行い、参加者から意見や要望を受けて話し合っている。そこでの意見等は運営に反映させている。その中では利用者への対応で心肺蘇生法を消防署の協力で職員が年1回は受けるように取り組んでいる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族等の来訪時には話しやすい雰囲気づくりに留意している。運営推進会議に家族等に参加してもらい意見や要望、苦情等を聴くように努めている。意見箱の設置や苦情窓口等の案内もしており、意見や苦情等は運営に反映させるようにしている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し広報誌の協力をしてもらい、散歩時に挨拶や話をする、近隣の店に行く、地域の祭り、ボランティア、中学生の職場体験、個別には公民館活動(母子会やダンス、短歌)等の協力が得られるなどの地域との付き合いがある。

2. 調査報告書

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	前回の外部評価の結果を活かし、地域密着型サービスとしての理念の見直しを、職員全員で話し合い作りあげている。「地域とのつながりを大切に、自分らしく暮らす」と事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のかかわりの中で課題や問題が出た時に、理念に照らし合わせて話し合いを行いながら共有し、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し広報誌の協力をしてもらい、散歩時に挨拶や話しをする、近隣の店に出かける、地域の祭り、ボランティアや中学生の職場体験、個別の公民館活動(母子会やダンス、短歌)等の協力が得られるなどの地域との付き合いがある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義や目的を職員全員に伝え、職員が分担し意見を記入しており、総括を管理者が行っている。職員には日々のケアの振り返りの機会となり、自らの実践の点検に活用されている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に(2ヶ月に1回)開催しており、利用者の状況、行事、職員関係等の報告を行い、参加者から意見や要望を受け話し合っている。そこでの意見等は運営に反映させている。その中では、心肺蘇生法を消防署の協力で職員が年1回は受けられるように取り組んでいる。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	対応困難事例や苦情対応等の相談に窓口を訪れ、助言やアドバイス等を受けてサービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月ホーム便りを発行し、個別に暮らしぶりを書き、写真等を添えて送っている。来訪時にも健康状態や暮らしぶりの報告をしている。また、必要時には電話等でも行うようにしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の来訪時には話しやすい雰囲気づくりに留意している。運営推進会議には、家族等に参加をしてもらい意見等を聴くように努めている。意見箱の設置や苦情受付窓口等の案内もしており、意見、苦情等は運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えるよう努めている。やも得ず職員の交替がある場合は、職員配置を一時的に多くし利用者へのダメージを防ぐ配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験や資格等に応じて、研修の機会を作り参加をするようにしている。実践者研修、基礎研修、園芸療法、学習療法、タクティールケア等を受講しており、報告や資料を閲覧し共有を図っている。年1回消防署の協力を得て、救急救命講習を事業所内で受講している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡協議会に加入し、管理者研修会に参加をして同業者との交流を図り情報交換等をしている。ブロック別研修や交換研修等も参加するようにしている。近隣の事業所とは納涼祭等のイベントに利用者と職員が共に参加をし交流を行い楽しんでいる。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族をお茶会や行事等に見学を兼ねて招待し、利用者や職員と馴染みになってもらうようにしている。入居当初は家族や友人に協力してもらい、面会や外出、外泊等をしてもらうことや職員も言葉かけを多くする等に配慮し安心して生活が送れるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを共有しており、日常生活場面で地域のことや満州時代の話、料理、裁縫、野菜作り等教わることも多い。共に過ごし支えあう関係が築かれている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で言葉かけを行い、把握に努めている。言葉や仕草、表情などから真意を推し測ったり、さり気なく確認をするようにしている。その情報を職員間で共有しながら日々のケアに活かしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族には日々のかかわりで思いや意見を聴き、介護計画に反映させるようにしている。月1回モニタリングを行いカンファレンスで職員は話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映させた利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは3ヵ月に1度と状態の変化に応じて実施している。職員間で話し合い、本人、家族に確認しながら現状に即した新たな計画を作成している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	平成20年5月より、空き部屋の短期利用ができるように届け出をしている。本人、家族の希望や状況に応じて、通院介助、送迎、買い物、入院中の洗濯物等必要な支援を柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に本人、家族に確認し希望に応じたかかりつけ医が継続されており、かかりつけ医との連携も図り適切な医療が受けられるよう支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対する対応指針を定め、家族、医師、看護師を交えて話し合いを行っている。状態の変化に応じて、家族との話し合いを繰り返しながら、家族の思いに添って支援をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の尊厳を大切に、言葉かけや対応に配慮しながらさり気なく支援をしている。記録等の個人情報の取り扱いに関しては、秘密保持の徹底を図るようにしており、就業規則や誓約書を交わしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合に合わせるのではなく、一人ひとりの状態やその時の気持ちを大切に本人のペースに応じて生活ができるよう支援をしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員が同じテーブルを囲み楽しく食事ができるよう支援をしている。自家菜園で野菜を育て収穫し、下ごしらえをする、調理、買い物、お茶を入れる、テーブルを拭く、片付け等、職員と利用者が一緒に行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は幅広く設けて、利用者の希望やタイミングに合わせて支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自家菜園で野菜を育てる、草むしり、調理や野菜の下ごしらえ、洗濯の手伝い、モップ掛け、テーブルを拭く、嗜好品(喫煙、コーヒー等)、ペット(犬)の世話、買い物、花見、ドライブ、果物狩り、日帰り温泉、カラオケ、公民館活動に参加、趣味(短歌、ビーズアクセサリー、詩吟、抹茶を立てる等)活動、散歩等で役割や楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気や本人の気分に応じて、季節を肌で感じてもらえるように、散歩、買い物、お花見、果物狩り、ウッドデッキや玄関先でお茶を楽しむ機会を支援している。また、時にはお墓参り、生家を訪問、家族旅行、公民館活動等も家族や友人の協力で行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は極力かけない方向でいるが、利用者の状況に応じては家族に説明し鍵をかける時がある。センサーを設置したり、見守りを行い安全面に配慮しながら施錠は常態化しないよう努力している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、年2回利用者と職員と一緒に防火訓練を行っている。避難誘導時の注意やアドバイス等を受けている。近隣者への協力依頼も行っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の好みの物を取り入れたり、嚥下状態に応じて、食事形態を変え食べやすい工夫をしている。食事や水分の摂取状況はおおまかに毎日チェックをし把握はしているが、量は記録していない。	○	利用者全員の食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、職員で共有して支援をするようにしてほしい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先にはプランターに季節の花、庭木、ベンチを設置、ホールには季節の花を飾る、畳コーナー、ソファ、籐の椅子、だるま、金魚の水槽、犬、切り絵等飾られている。ウッドデッキでは日向ぼっこやお茶会をしている。自家菜園では野菜づくりをしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	箆笥、卓上テーブル、衣装箱、衣装掛け、バック、椅子、趣味の茶道の道具、乳液、化粧水等が持ち込まれおり、本人が安心して過ごせる場所となっているよう見受けられた。		